

平成 20 年度第 3 回福祉のまちづくりパートナーシップ区民活動支援事業
審査委員会 会議の記録（要旨）

1 日時 平成 20 年 7 月 24 日(木)午後 4 時 15 分～ 5 時半

2 場所 練馬区役所西庁舎 8 階 理事者控室

3 出席者 委員 6 名(中野委員、古山委員、林田委員、増島委員、室地委員、平野委員)
地域福祉課長 地域福祉課やさしいまち推進主査

4 配付資料

- ・ 資料 1 平成 20 年度 福祉のまちづくりパートナーシップ区民活動支援事業 助成対象企画および団体一覧
- ・ 資料 2 第二次選考審査シート
- ・ 資料 3 「練馬ふくしの輪」追加提出資料

5 議事

(1) 事務局から助成事業進捗状況等

平成 20 年度助成グループ事業名変更等について 資料 1 のとおり

(2) 二次審査対象事業と二次審査の進め方について

二次審査対象事業 「緑で元気になろう！」プロジェクト (練馬ふくしの輪)
ヒアリング後、一旦当該団体を退席させ合議のうえ選考することとした。

(3) パートナーシップ活動助成部門設備整備を伴う活動二次審査

ヒアリング 練馬ふくしの輪から、事業実施の詳細計画について説明後、審査委員か
ら質疑を行った。

選定結果については以下のとおり

	企画提案事業名	グループ名	申請額	適否
1	「緑で元気になろう！」プロジ ェクト	練馬ふくしの輪 代表 石川由美子	6 1 万	適

(7) その他応募企画提案の審査ポイント

設備設置の安全面・近隣からのクレーム等に対し十分な対策を講じるよう事務局がチ
ェックを行うこと

備品購入に関しては、改めて見積を提出のうえ事務局と協議し予算執行をすること。

審査委員講評一覧

委員名	選考結果	事業内容に関するコメント	査定のポイント
中野委員	可	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策、クレーム対策（におい、音、害虫）設置に関する許可、契約（取り交わし）等をとること。 ・備品は見積もりをとること。 <p>実現可能性が高く、計画も具体的で準備も進んでいるので、問題ないと思います。上述の対策、予算執行に際して、事務局としっかり打合せをしながら活動を展開して行って下さい。</p>	<p>予算通りでOK！！</p>
林田委員	可	<ul style="list-style-type: none"> ・音、におい、虫の問題を十分に検討してほしい。（クレーム対策） ・所有は団体になるが、設置（倉庫）について、それぞれの施設との契約、覚書き、トラブルにならないようにしてほしい。責任をもって管理してほしい。 ・安全に関して不安要素あり。 ・参考図書、研修、見学にかかる交通費、園芸療法、講習会、見学などアバウトな予算なので、無駄のないお金の使い方を望む。 ・今後いかに、他の場所でも、活動していくことができるか...難しいと思うが、そのあたりのことも（発展の仕方）示してほしい。 ・写真などで、この活動を広報して行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実現可能なアイデアだと思う。 ・全額として妥当と思う。
古山委員	可	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸を特養ホーム入居者と共に楽しむ、また近い将来、園芸療法もできるようになるとなお可。 ・今後グループの体制を強化していく方策を見守りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子利用棚作成について安全性 ・「天水尊」は防災にも役立つので可。 ・全事業の実行性。

増島委員	可	<ul style="list-style-type: none"> ・天水尊の設置には、安全に十二分に配慮する。 ・電気式粉碎機の設置は、近隣に対して、苦情の原因となりそうなので、対策をする。 ・腐葉土箱も同じ。 	この計画が継続できるか、一番のポイントです。
室地委員	可	設備の安全対策、近隣対策（臭い、音）を十分配慮した上で、事業を進めて欲しい。	・見積もりの最終チェックをして下さい。
平野委員	可	<ul style="list-style-type: none"> ・設備に関する安全対策、苦情対策を十分に講ずること。 ・備品に対する管理責任を持つこと。 ・支出根拠を明確に。 	